

最近よく聞く言葉 ポリファーマシー

「ポリファーマシー」とは Poly（複数）と Pharmacy（調剤）を合わせた言葉で、「多剤服用」や「多剤併用」を言います。単に服用する薬の種類や量が多いことではありません。必要以上に薬剤を使用し、有害事象を引き起こす可能性がある状態です。多くの薬剤を服用していても、患者さんの治療や健康管理に必要な場合は該当しません。

近年、特に問題となっているのは高齢者のポリファーマシーです。高齢者は複数の疾患に罹っていることが多く、様々な診療科を同時に受診するため使用する薬の数が増える傾向にあります。さらに加齢により消化吸収や代謝機能が衰えるため、薬の効き目が弱い場合や強過ぎてしまう場合があります。副作用のリスクが高く、重篤な有害事象が生じやすくなります。薬剤使用量の増加は国民医療費増加にもつながります。

ポリファーマシーを防ぐには医師、看護師、薬剤師などの医療関係者がそれぞれの立場から得た情報を共有し、医薬品の適正使用を心がけていく必要があります。また、患者さん自身もお薬手帳やかかりつけ薬剤師制度を活用し、使用している薬について積極的に医療スタッフに相談することが大事です。

総合南東北病院広報誌「南東北第 337 号」より転載